

保育園や幼稚園・児童館など、子育て支援に携わる すべての方に向けたオススメの本 《2019年改定版》

- ・支援者自身の疑問や不安に応える本
- ・安全な保育をするための手助けになる本
- ・保護者への援助の参考としていただける本
- ・子どもと本を結びつけるために参考となる本など

子どもや保護者とかかわる場でお役立て下さい。
2018年までに出版の本(出版月ごとに並べています)

タイトル	内容	著者	出版者	出版年月
<p>すぐにできる！保育者のための 紙芝居活用ガイドブック - 子どもの育ちを支える！ 月齢別指導計画付き -</p>	<p>絵本とは異なる特徴のある紙芝居。紙芝居の基本的な演じ方や紙芝居を使った保育の指導計画など、より紙芝居の魅力を引き出して日々の保育の中で活用できる方法を紹介。月別に選べるおすすめの紙芝居リストつき。</p>	浅井拓久也編著	明治図書出版	2018.11
<p>イラストでわかる発達が気になる 子のライフスキルトレーニング - 「できた！」を増やす対応法 - 幼児期～学童期編</p>	<p>コミュニケーションや行動など発達が気になる子たちの「できる」を増やすために、家庭や園生活の中でできる具体的な方法をイラストでわかりやすく紹介。「あせらない」「あわてない」「あきらめない」ということの大切さも語られています。</p>	平岩幹男	合同出版	2018・10

<p>「気になる子」のわらべうた</p>	<p>日常の中で何気なくやっているわらべうたのなかには、「触れる・揺れる・動かす」など、子どもの発達を促す要素がたくさん入っています。様々なタイプの子どもにあった、感覚を育てるという観点で見た「わらべうた」をわかりやすいイラストで紹介。動画が見られるQRコード付。</p>	<p>山下直樹</p>	<p>クレヨンハウス</p>	<p>2018.9</p>
<p>東北の保育者たちに学び、備える - 巨大地震が来る前にできること -</p>	<p>東日本大震災の時に東北の保育者たちは、子どもたちを守るためにどんな行動をとったのかを紹介し、その実践から得た教訓がまとめられています。自分自身では避難できない子どもたちをどう守ればよいのか。30年以内に起こる可能性が高いといわれる首都直下型地震に、十分な備えをするための手助けとなる一冊。</p>	<p>野津牧編著 名古屋短期大学 みんなに笑顔をとどけ隊著 名古屋短期大学 保育科 野津ゼミナール 震災と 保育グループ著</p>	<p>ひとなる書房</p>	<p>2018.8</p>
<p>保育者のための 子育て支援ガイドブック - 専門性を活かした保護者へのサポート -</p>	<p>子どもが健やかに育っていくための地域での保育園のあり方や、保育園の保護者に対する子育て支援、地域の保護者に対しての子育て支援が「新保育所保育指針」に沿って解説。また、現場の保育者に聞いた様々なタイプの保護者に対する支援の仕方などを、わかりやすく説明。保護者と向き合うための手助けとなる一冊。</p>	<p>武田信子</p>	<p>中央法規出版</p>	<p>2018.7</p>
<p>佐々木正美の子育て百科 - 入園・入学前に親がしておきたいこと -</p>	<p>平成29年に亡くなられた「子どもへのまなざし」シリーズで知られる児童精神科医の佐々木正美さんが、子育ての中で起こる様々な問題や疑問点など具体的な事例をあげて答えています。主に保護者向けに書かれていますが、子育て支援に携わるすべての人に読んでもらいたい一冊です。</p>	<p>佐々木正美</p>	<p>大和書房</p>	<p>2018.6</p>
<p>保育現場の 子ども虐待対応マニュアル - 予防から発見・通告・支援のシステムづくり -</p>	<p>年々増えているといわれる子どもの虐待件数。最近の子どもの虐待の傾向から、日々長時間子どもと関わっている保育者が早期発見のためにどのような目を養えばよいのか、そしてどんな支援が必要なのか。実際の事例をあげながら保育現場での対応の仕方をわかりやすく説明。</p>	<p>倉石哲也</p>	<p>中央法規出版</p>	<p>2018.5</p>

<p>保育をゆたかに絵本で コミュニケーション</p>	<p>基本的な本の読み方から、絵本を読んでいるとき子どもたちの反応に困ってしまったときのQ & Aなど、絵本を中心に子どもたちとのかかわりを楽しむための工夫を多数紹介。保育の様々な場面で生かせる絵本や紙芝居のリスト付。</p>	<p>村中李衣</p>	<p>かもがわ出版</p>	<p>2018.5</p>
<p>汐見稔幸こども・保育・人間 - 子どもにかかわるすべての人に</p>	<p>保育の研究者で、TVの子育て番組や講演会などで保護者や保育者から信頼を得る著者が、幼児教育や保育の専門家らと、これからの保育や子どもたちの未来について語り合っています。常に子どもの幸せを第一に考える思いが詰まっており、子どもとかかわるすべての人に対しての大切なメッセージを伝えてくれる一冊です。</p>	<p>汐見稔幸著 新田新一郎 責任編集</p>	<p>学研教育 みらい</p>	<p>2018.5</p>
<p>「気になる子」が変わるとき - 困難をかかえる子どもの発達と 保育 -</p>	<p>行動や発達が気になるといわれる子どもたちが、「かけがえない自分」を感じ変わっていく。そのためには、どこに目をつけていけばよいのか。保育や療育の現場に関わってきた著者が、具体的な事例をあげ、子どもを見つめなおす視点・保護者の支援・専門機関にどのようにつなげればよいのかなども含めて保育者の悩みに答えています。</p>	<p>木下孝司</p>	<p>かもがわ出版</p>	<p>2018.5</p>
<p>Q & Aで考える保護者支援 - 発達障害の子どもの育ちを 応援したいすべての人に -</p>	<p>言語聴覚士で、発達障害の子どもの療育や巡回指導に携わってきた著者が、保育士や教員・療育関係者等さまざまな立場の方からの保護者支援に関する具体的な質問に答えています。発達障害のある子どもたちの健やかな育ちのために何ができるのか。保護者の思いに寄り添いながら支援するための手助けとなる一冊です。</p>	<p>中川信子</p>	<p>学苑社</p>	<p>2018.4</p>
<p>Q & A 保育所・幼稚園のための 法律相談所 - 現場からの56の相談に、顧問 弁護士がわかりやすく答えました -</p>	<p>大切な子どもたちを預かる保育園や幼稚園では、園内の事故だけでなく、保護者とのトラブル・近隣との問題・行政や個人情報の問題・職員の労務問題など様々な法律問題が毎日のように起きているといわれています。法律事務所が実際にあつかった事例をあげ、法的な解説もふまえながら対処方法をわかりやすく説明。</p>	<p>岩月泰頼編著 菅原清暁編著</p>	<p>日本加除出版</p>	<p>2018.4</p>

紙芝居百科	紙芝居の魅力、演じ方、絵本との違いや作り方、対象に応じたプログラムの立て方など紙芝居に対する様々な質問に答えてくれます。また、後半には、分野別の「おすすめ紙芝居」と演じてみてほしい「おたのしみ紙芝居」を紹介。保育の中での紙芝居選びの手助けになる一冊。	紙芝居文化の会 企画制作	童心社	2017.11
保育・子育て絵本の住所録 - テーマ別絵本リスト -	絵本経験の深い保育者の絵本読みの実践や、絵本作家・研究者など専門家のアドバイス、絵本とのかかわり方などを紹介。季節や行事ごと、また、保育活動や生活・赤ちゃん絵本などのテーマ別に分かれた4000冊以上の絵本リストも掲載されています。日々の保育の中での絵本選びの手助けになる1冊。	舟橋斉・富田克巳 編著	三学出版	2017.9
虐待から子どもを守る！ - 教師・保育者が必ず知っておきたいこと -	児童虐待とは何かという基礎知識から、虐待が発生する構造や早期発見のためのポイント、発見した時にどのように対応したらよいのかが、具体的な事例をあげながら、わかりやすく記されています。虐待問題を抱える親子をとともに支えるために、役立つ一冊です。	加藤尚子	小学館	2017.7
保育者のための 心の仕組みを知る本 - ストレスを活かす 心を守る -	保育の仕事は、人とのかかわりが大切な仕事であるからこそ、保護者との関係、職員間の関係など、様々な人間関係でストレスを感じることも多いと言われています。実際に保育現場で働いている方々の体験や言葉を取り上げ、どのように「ものの見方」を変えていけばよいかを「認知行動療法」という専門分野から説明。	掛札逸美文 柚木ミサト絵	ぎょうせい	2017.7
写真で紹介 園の避難訓練ガイド	様々な立地条件や、地域とのつながりの中での避難訓練の実践を、写真でわかりやすく説明しており、来たるべき災害への備えのための参考となる一冊です。(世田谷区内の小規模保育施設や認証保育所の避難訓練の様子も紹介されています。)	天野珠路編著	かもがわ出版	2017.5

<p>発達障害の子のための 「すごい道具」 - 使ってみたら、「できる」が増えた -</p>	<p>特別支援学校教諭の著者が、実際に使った物の中から、誰もが気軽に使える「できる」を増やすための道具を紹介。その子に合った道具を選び「できる」喜びを増やすために、また保護者へのアドバイスへの助けにもなる一冊。</p>	<p>阿部博志</p>	<p>小学館</p>	<p>2017.1</p>
<p>子どもの危険な病気のサインがわかる本</p>	<p>子どもの命にかかわる病気の症状とその対応を具体的に説明。また、医者に頼らなくても治る病気についても解説されています。主に保護者向けに書かれていますが、保育者にとっても、子どもの健康状態をしっかりと観察し、保護者に伝えるためにも参考になる一冊です。</p>	<p>松永正訓</p>	<p>講談社</p>	<p>2016.11</p>
<p>子どもの心の育てかた</p>	<p>児童精神科医の著者は、家庭や育児をめぐる環境は時代とともに変わっても、子どもの成長や発達について考える大切なことは時代が変わっても変わるものではないと言います。著者の考える「いつまでも変わらない大切なこと」が乳児期から思春期まで、子どもの成長のあらゆる時期にお読みいただけるように綴られています。</p>	<p>佐々木正美</p>	<p>河出書房新社</p>	<p>2016.7</p>
<p>佐々木正美先生の 子育てお悩み相談室 - 不安、イライラが消えていく -</p>	<p>子どもをしかりすぎてしまう・子どもの欠点ばかり目についてしまうという育児での悩み、学校や園・習い事での心配などの32の悩み事に児童精神科医の著者が答えています。多くの方は、「子どもに手をかけすぎると自立しない」と考えがちですが、それは大きな間違いだと著者はいいます。保護者向けに書かれた本ですが、子どもたちの保育に携わる人にも、お薦めしたい一冊です。</p>	<p>佐々木正美</p>	<p>主婦の友社</p>	<p>2016.4</p>
<p>0～5歳子どもを育てる 「読み聞かせ」実践ガイド - よくわかる！絵本の選び方・読み方 -</p>	<p>明日の保育にすぐ役立つよう、読み聞かせの基礎・基本を身につけるための情報がわかりやすくまとめられています。また、日常の読み聞かせの選書の手がかりになるようにジャンル別に選ばれた絵本のブックリストも掲載されています。</p>	<p>児玉ひろ美</p>	<p>小学館</p>	<p>2016.4</p>

<p>子どもの「命」の守り方 - 変える！事故予防と保護者・園内コミュニケーション -</p>	<p>保育施設におけるの深刻なできごとを予防するための視点をはじめ、リスクコミュニケーションや園内のコミュニケーションの作り方を紹介。子どもの命を守るときに、「保育者、職員の心と仕事を守る」という観点もしっかりと持つことが大切で、「私の心と仕事のため」が安全をつくり、保育の質を上げるということも述べられています。</p>	<p>掛札逸美</p>	<p>エイデル研究所</p>	<p>2015・10</p>
<p>私たち非正規保育者です - 東京の公立保育園非正規職員調査から見えてきたもの -</p>	<p>公立・私立に関わらず保育園職場では、非常勤職員の力はないものとなっています。本書では、「非正規問題は保育の質問題と密接に絡んでいる」「子育て新制度は非正規雇用奨励制度」などといったことが語られています。正規職員と非正規職員がしっかりと連携を取ってよりよい保育を進めていくのに、役立つ一冊です。</p>	<p>垣内国光 高橋光幸 小尾晴美監修 非正規 保育労働者 実態調査委員会</p>	<p>かもがわ出版</p>	<p>2015.8</p>
<p>裁判所がもとめる幼稚園・保育所の事故防止策 - その対策で大丈夫?! 実際の裁判26例から、事故のポイントを引き出す! -</p>	<p>保育の中で、何よりも優先されなければならない園児の安全。本書は、保育施設・幼稚園などで発生した事故で裁判になった例をあげ、事故を起こした当事者がどのように考え保育に当たっていたのか、その考えのどこが不十分であると指摘されたのかを説明しています。安全な保育を行うための参考となる一冊です。</p>	<p>高橋正人</p>	<p>かもがわ出版</p>	<p>2015.7</p>
<p>保育のなかの絵本</p>	<p>どのように絵本を選び、どのように読んでいるのか？保育者が子どもと一緒に絵本を読むということは、どんな意味があるのか。年齢ごとにあった絵本を紹介しながら、絵本を通して関わった子どもたちの様子が記されています。巻末に子どもたちに読んであげたい絵本リスト付。</p>	<p>正置友子編 大阪保育研究所 編</p>	<p>かもがわ出版</p>	<p>2015.6</p>
<p>紙芝居入門1 紙芝居 - 演じ方のコツと基礎理論のテキスト</p>	<p>絵があって文があって絵本に似ているように思われますが、絵本とは違う紙芝居。動くはずのない絵がまるでしぐさをするかのように動いて見えるのです。子どもたちをより引きつけられる紙芝居を演じる手助けになる一冊。また、姉妹編に「紙芝居入門2 おすすめ紙芝居400冊 - こんな時にはこの紙芝居を - 」もあります。</p>	<p>子どもの文化 研究所編</p>	<p>一声社</p>	<p>2015.3</p>

<p>発達障害の子どもが伸びる ほめ方・しかり方・言葉かけ - 毎日の生活に取り入れるだけで 子どもは変わる -</p>	<p>大きく3つのタイプに分けられた発達障害の特性が簡潔に説明されています。そして、それぞれの発達障害をもった子どもの子育てに取り入れて欲しい「ほめ方・しかり方・言葉かけ」が場面別にわかりやすくまとめられています。保育の場面でも、また発達障害を持った親を支える上でも役立つ一冊です。</p>	<p>塩川宏郷監修</p>	<p>河出書房新社</p>	<p>2015.3</p>
<p>発達障害の子に「ちゃんと伝える」 言葉かけ - 日常生活での「できる」を増やす 伝え方のルール -</p>	<p>発達障害の子どもたちの本質的な特性をよく理解できるよう具体的な問題が取り上げられ、その特性を理解したうえでの無理のない伝わりやすい言葉かけが、NG例・OK例をあげて、わかりやすく紹介。また発達障害の子どもたちに寄り添う保護者の気持ちも語られており、保育者がよき理解者となるためにも、役立つ一冊です。</p>	<p>佐々木正美</p>	<p>すばる舎</p>	<p>2015.1</p>
<p>紙芝居の演じ方Q & A</p>	<p>おなじみの紙芝居「ごきげんのわるいコックさん」「みんなでぼん！」の作者まついのりこさんが、紙芝居の選び方から立ち位置までイラストに沿って丁寧に説明。自分にあった演じ方をみつけて、子どもたちにすてきなお話を届ける助けになる一冊。</p>	<p>まついのりこ</p>	<p>童心社</p>	<p>2006・10</p>

リストにある本は、奥沢図書館ほか世田谷区内の図書館で借りることができます。
図書館をはじめてご利用になる場合は、奥沢図書館までお問い合わせ下さい。

TEL 3720 - 2096 FAX 3748 - 5183